

教育民生常任委員会調査

徳島県北島町、兵庫県南あわじ市を視察調査

予防を重視した健康対策のさらなる充実と 将来を見据えたより一層の少子化対策の展開を！

伯耆町議会教育民生常任委員会（幸本委員長以下7委員）は、次の調査を行った。

H25年10月30日～11月1日まで、徳島県北島町および兵庫県南あわじ市を訪問し、高齢者の福祉施策並びに少子化対策・子育て支援施策について調査を行った。

徳島県 北島町の概要

徳島県の北東部に位置する平坦な工業地帯。徳島市と鳴門市に隣接、近郊住宅地の機能を有する。面積約8・8km²、人口約2万2千人、高齢化率約21％である。

調査の概要

(ア)介護予防、一般高齢者施策委託事業

生きがい教室や温水プールを利用したいきいきスクールの委託実施。

(イ)老人福祉センター事業

18講座20教室の高齢者生きがい講座開設。60歳以上は入浴施設無料。福祉バスも無料。

(ウ)乳幼児医療助成事業

小学校終了時まで入院・通院費用助成（一部自己負担）。

兵庫県 南あわじ市の概要

淡路島の南部に位置し、三原郡4町合併により誕生。人口約5万1千人、0～14歳が総人口の約13％、高齢化率約29％である。

調査の概要

(ア)「子どもを産みたい、育てたい町」の取り組み

H28年度に人口5万人を下回らない基本構想。少子対策課を設置。

(イ)新婚世帯家賃補助事業

新婚世帯の市内定住、民間賃貸住宅の活用を図るため、一部家賃を助成。

(ウ)在宅子育て支援事業
3～5歳児の家庭保育に在宅子育て奨励金を支給。



高齢者生きがい講座

(工)通勤・通学交通費助成事業

定住人口増を目的に、高速バスでの通勤・通学者に交通費の一部を助成。(オ)ハッピーマジック（結婚促進）事業

縁結び事業推進のため出会い交流の場「ハッピーマジックの会」、「ハッピー応援団」を創設。

(カ)「ゆめるん」の取り組み
子育て応援シンボルキヤラクターと愛称を公募。



少子対策課の窓口

調査のまとめ

(1)高齢化の進む中、まずは高齢者の活躍が求められる。地域を支えていただくためにも、健康寿命を延ばす予防を重視した健康対策のさらなる充実が必要と思われる。

(2)ゆうあいパルやB&Gプールなどの温泉やプール等の施設のさらなる活用充実を図り、広く一般市民の利用を促すなど、健康対策に資する取り組みがさらに必要と思われる。

(3)子育て環境の充実や定住施策の推進など、将来を見据えたより一層の少子化対策の積極的な展開が望まれる。

(4)県・市の子育て支援事業などを一冊にまとめ、全戸、特に乳幼児の保護者に配布している南あわじ市独自の「子育て支援ハンドブック」を参考に、子育て支援施策のひとつとして、検討してはどうかと考える。